

平成 25 年度 予算

平成 25 年度 各会計別予算

名 称		予 算 額 千円未満切り捨て
一 般 会 計		136 億 6,931 万円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	37 億 528 万円
	漁 業 集 落 排 水	3,234 万円
	農 業 集 落 排 水	4,397 万円
	港湾及び漁港施設管理受託	6,076 万円
	土 地 造 成	8 億 3,360 万円
	介 護 保 険	25 億 8,524 万円
	後 期 高 齢 者 医 療	4 億 1,255 万円
	合 計	76 億 7,377 万円
企 業 会 計	水 道 事 業	6 億 8,510 万円
	工 業 用 水 道 事 業	9 億 5,534 万円
	公 共 下 水 道 事 業	14 億 7,895 万円
	合 計	31 億 1,940 万円

3月定例会において提案された、平成25年度各会計予算は、3日間（3月13日～3月15日）にわたり予算特別委員会において審査された結果、総額213億4,308万7千円（企業会計を除く）を可決しました。（前年度比1・8%減）

平成25年度の主要事業と、審査における質疑及び答弁の一部をご紹介します。

平成 25 年度 主要事業の一部

隣接する商業地区と一体になって、子どもから高齢者までが、スポーツやレクリエーションなど楽しめる公園として施設整備を行います。

平成 25、26 年度で野球場・テニスコート・管理棟を整備します。

晴海臨海公園整備事業

《551,317 千円》

（事業費には事務費を含みます）

給食センターによる市内小中学校への給食を開始します。調理・配送業務は、民間事業者へ委託します。安心して安全な給食を実施します。



学校給食運営事業 《72,527 千円》

消防署のポンプ自動車を更新します。



消防ポンプ車整備事業

《42,404 千円》

大竹駅を橋上駅化し、JR 山陽本線で分断されている中心市街地の東西間を自由通路で結び、駅東口側に交通広場を整備する計画です。



大竹駅東口広場整備事業 《91,380 千円》

一般会計予算に 関する質疑

Q 行政機関における障害者の法定雇用率は現行2.1パーセントである。今後の取り組みについて問う。

A 平成25年4月から自治体に適用される率が2.3パーセントに上昇する。これにより、4月時点では達成できない見込みとなるため、身体障害者を対象とした採用試験を早急に実施していきたい。

Q 木野集会所は、木野小学校の統廃合に伴い建てられるものであるが、規模等はどのようになるのかを問う。

A 建物は270×280m程度の木造平屋建てを考慮しており、平成25年度内の竣工を目指している。

Q 剪定枝堆肥化事業及びふれあい戸別収集事業の補助金は、ごみ処理手数料の導入に伴う初めての事業であるが内容を問う。

A 剪定枝堆肥化事業については処理だけではなく、運搬も行う。ふれあい戸別収集事業については、ごみ出しができない世帯について、週2

回ごみを戸別収集し、その時に状況も把握する。

Q マロンの里は、農産物の売り上げや、イベント等を含め利用者が減ってきているが、管理運営委員会は機能しているのか問う。

A マロンの里管理運営委員会では、マロンの里の機能強化や集客アップについて知恵を出していただいている。年々集客が落ちている中で商品については、常に新鮮なものを提供していきたいと考えている。「レストランみくら」においては、売り上げが伸びていない中、試行錯誤しながら新たなメニューなどの開発に取り組んでいる。



三倉定食・マロンソフト

Q 玖波駅西口関係の進捗状況について問う。



玖波駅西口

A 平成24年度については、駅広場の契約を行っている。平成25年度については、駅舎部分の用地買収や、接続道となる玖波36号線ほか青木線の用地買収費を計上している。

Q 晴海臨海公園の整備に平成25年度の予算が5億4,325万円で翌年度が4億3,450万円ということが記載されている。整備の中で2億7,980万円の新たな負債が発生すると考えている。メンテナンスの費用や利用者数の見込みを問う。

A メンテナンスの費用については、公園全体ができた段階で植物の管理、下水・水道・電気料金を全て合わせて年間2千5百万円という見込みで

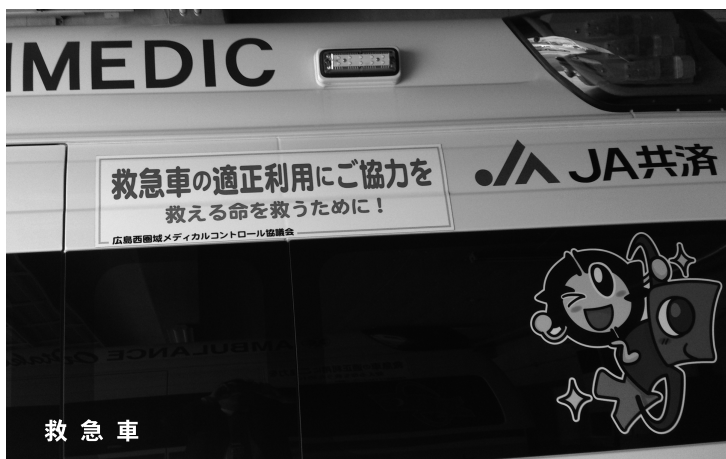
ある。利用者数については、野球場とテニスコートの完成時は約1万8千人、全体の整備が終わった後には約10万3千人程度の年間利用客があると見込んでいる。

Q 養殖漁業技術開発支援事業補助金の仕組みはどうなっているのか問う。

A 補助金の交付先は阿多田島漁業協同組合を予定しているが、実際の研究の委託先は漁協から高知大学に依頼する予定である。当大学は、柑橘系飼料によるブリのブランド化についてノウハワを持っていると聞いている。平成27年度にレモンハマチの試験生産をしてレストランやホテルなどの販売やPRをし、4年目から通常生産を目指す。



ハマチの出荷風景



Q 救急車が必要のない人を搬送しているケースが多いのではないかと思われる。本当に必要な人に使ってもらうための工夫や、市民に対する啓発の取り組みについて問う。

A 大竹市消防では、救急要請に応じて救急隊が現場に行き、病院への相談等により必要がないと判断した人については、話をして搬送を断るようにしている。平成24年度には全出場件数のうち1割近くの不搬送があった。適正利用の啓蒙活動としては救急車にシールを貼っている。

Q 玖波小学校の施設整備に向けて、どのような作業が行われるのか問う。

A 具体的な作業は業者が決まってからになる。前段階として地域への説明等を行い、その後に耐震性の方向性を決めていくことになる。

Q 奨学金返還免除制度を昨年度から実施しているが、何名が返還免除の適用を受けたのか。

また、奨学金の採用が狭き門になったと思われるが、採用枠の拡大についてどのように考えるかを問う。

A 今年度の免除者数は32名である。奨学金の応募は例年20名程度で大体採用という形になっていたが、平成24年度は免除制度が始まったことから41名の応募があり、そのうち24名を採用した。毎年20名程度の採用枠で進めて行きたいと考えている。

Q 給食センターに変わること、アレルギー食対応ができなくなる小生はいるのかを問う。

A 現在は卵・乳製品・小麦を除去しているが、給食センターにおいては小麦が除去の対象にならなくなる。

Q 大願寺地区について現在、住宅がどの程度建設されてきているのかを問う。



A 大願寺タウンの住宅の建設について、地区計画の届け出件数が56件である。そのうち22件が市内の方、16件が市外の方となっている。その他はハウスメーカーの建売である。地区計画の届け出の後に、建築確認が53件提出され、実際に動き始めている。

特別会計予算に 対する質疑

国民健康保険特別会計

Q 本市の国民健康保険料の収納率は県内の他市と比べてトップクラスということであるが、以前は国税庁のOBを雇用し成果が上がっていた。その後退職され、不納欠損が多くなっているように感じるが、現在の状況について問う。

A 国保料の不納欠損の状況について平成22年度と平成23年度を比べると4百万円程度増えている。

大竹市水道事業会計、 大竹市工業用水道事業会計

Q 水道事業会計、工業用水道事業会計は、資金不足であり、今後は耐震補強や老朽化への対応などもあるため、更なる厳しい経営努力が必要かと思われる。現在での見解を問う。

A 水道事業においては、使用水量が減少してきていることから、年々料金収入が減少している。料金の改定も念頭に入れているが、市民サービスが低下しないよう慎重に、

検討していきたい。工業用水道事業については、日本製紙株式会社の受水契約更新がなかったため、平成25年度以降、約6千6百万円の減収となる。最悪、現金預金不足ということになり、経営自体成り立たなくなる。いかに資金調達していくかは、今後も県と情報収集をし、取り組んでいきたい。

【委員会での討論】

一般会計

【反対討論】

○「晴海臨海公園実施は新たな借金が発生。ごみ有料化決定より先に住民説明をすべきであった。以上により反対。」

【賛成討論】

○「晴海臨海公園は、インターチェンジも近く、小方のまちは本市の核になるとの立場から、もつとまちづくりの事業費は必要であると考え、賛成。」

※特別委員会で採決の結果、
原案のとおり可決

本会議へ



晴海臨海公園予定図

一般会計・土地造成特別会計

【反対討論】

○「本市の活力成長が見えない。優先順位が違う。人口2万8千人のまちにシンボリックな箱物はいらない。危険な橋梁の補修など人の命が後回しにされている予算だから反対。」

○「晴海臨海公園よりも玖波駅のバリアフリー化を。ゴミ有料化は市民説明を先に。文化振興事業団職員を選考試験で市職員に任用するのは間違い。一般会計予算に反対。」

○「ゴミ有料化は条例化が先行し議会は単なる追認機関化している。大型公共事業ではなく老朽化した施設の修復を。人口減少で駅橋上はB/Cがもつと下がる。予算に反対。」

【賛成討論】

○「少子高齢化と人口減少対策は喫緊の課題。過去からの構想をただ様子見しているのは間違い。小方小・中学校が出来、大願寺タウンは活況であり全ての予算に賛成である。」

○「民間が行っていたバスや医療に行政が関与する時代になった。ただ、請け負った業者が確定した報酬を受けるのではなく成績が反映する制度の検討を求めて予算に賛成。」

○「厳しい財政下、旧態依然では対応できない。この予算は本市の最上位計画である第五次総合計画やその実施計画をふまえ、健康保持、施設の長寿命化を考えたもので賛成。」

本会議で採決の結果

原案のとおり可決

予算特別委員

委員長
副委員長
委員

北林 隆子
細川 雅三
西川 健孝
網谷 芳馨
藤井 公章
寺岡 実穂
原田 中実
田中 穂

～予算はこうして決まります～

本会議

○議案上程

予算案が議題とされる。

○提案説明

市長は、予算案の内容と理由を説明する。

○総括質疑

○委員会付託

予算案を詳しく審査するために、予算特別委員会に委ねる。

予算特別委員会

付託された予算案について

○予算特別委員による質疑

○執行部による答弁

○討論

○採決

委員会として賛成すべきか反対すべきかを決める。

本会議

○委員長報告

予算特別委員長は、審査経過の概要と結果を報告する。

○質疑

議員が賛成、反対の意見を述べる。

○採決

予算案の可決または否決を決める。